



大潟土地改良区概要



令和6年度版



水土里ネット大潟管内図

水土里ネット



八郎潟基幹施設概要

施設名	規模
防潮水門	1カ所
排水機場	4カ所
中央幹線排水路	15.7km
1級幹線排水路	6.9km

土地改良区施設概要

施設名	規模
受益地	11,764.8ha
用水取入口	19カ所
幹線用水路	33路線 93.7km
支線排水路	31路線 108.6km
小用水路	534路線 450.3km
小排水路	597路線 520.7km
農道	531路線 435.7km

八郎潟干拓の沿革



干拓前



干拓後

八郎潟は秋田市北方約20kmに位置し、北緯40度、東経140度の経緯度交会点を中心に、東西12km、南北27km、総面積22,024haの半かん湖で琵琶湖に次ぐ日本第二の湖であった。

水深は最深部でも4.5mに過ぎず湖底は平坦で大部分が軟弱な泥土で覆われており、湖岸各所では古くから小規模の干拓や埋立が行われていた。

潟の開発計画は古くから立案され、安政年間に渡部斧松が八郎潟疎水案を立てたのをはじめ、明治5年に秋田県令の八郎潟開発構想、大正13年に農商務省の八郎潟土地利用計画、昭和16年に内務、農林両省の八郎潟利用開発計画・八郎潟干拓計画等が作成されたがいずれも実施に至らなかった。

戦後、食糧危機がその極みに達した時、八郎潟は再び開発の対象となり、昭和23年には農林省が干拓事業を計画したが財政その他の事情により実現しなかった。

その後、昭和27年秋田市に農林省八郎潟干拓調査事業所が設置され、昭和29年にオランダのヤンセン教授及びフォルカー技師の来日、それを契機とする世界銀行調査団及び翌年におけるFAO（国連食糧農業機関）調査団の現地調査等により事業の有用性が内外に認められることとなり、昭和31年には農林省の事業計画が完成し、昭和32年遂に国の直轄事業として「国営八郎潟干拓事業」着工の運びとなった。昭和33年には起工式が行われ、同年試験堤防を施工するほか西部干拓地が干陸された。昭和34年以降、堤防をはじめとする各種工事は最盛期を迎え防潮水門は昭和36年、新生大橋は昭和37年、南部及び北部排水機場は昭和38年に完成した。昭和38年中央干拓堤防もほぼ完成し、正面堤防では最終締切を行って中央干拓地のポンプ排水を始めた。

昭和41年全面干陸に伴い道路・用水路・排水路等中央干拓地内工事が最盛期を迎え、昭和43年導流堤が完成し、これにより干拓の基幹建設工事はほとんど完了した。

昭和39年10月、新村「大潟村」が誕生し昭和40年八郎潟新農村建設事業団が設立されて、中央干拓地の農地整備・農家住宅・役場・学校・上下水道の諸施設及び農業用施設の建設その他の事業が進められた。

昭和43年秋には第1次入植者により初稲が収穫され、引き続き昭和45年度の第4次まで入植者460戸と、昭和49年度第5次入植者120戸で計580戸（その後昭和53年度に県単玉川9戸）が入植した。

周辺干拓地は、昭和41、42年の両年度において竣功し、中央干拓地は昭和48、52年の両年度において竣功した。

ここに、着工以来20年の歳月と852億円の巨費を投じた世紀の大事業も昭和52年3月に全面完了した。

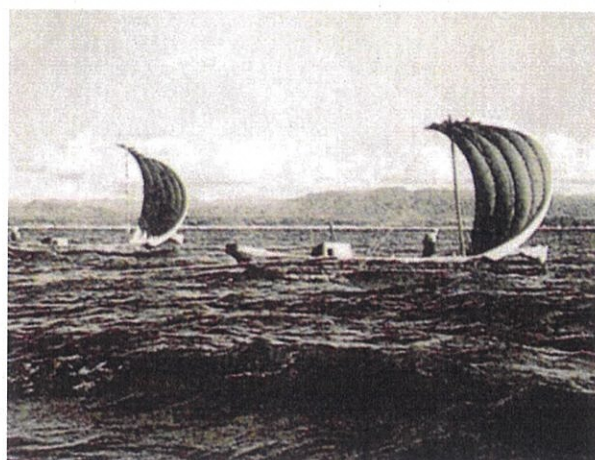
◆数字で見る八郎潟干拓

区 分	地区面積	面 積 内 訳				配 分 戸 数	
		農 地	集落用地	施設用地	その他の用地	入 植	増 反
中央干拓地（大潟村） [大潟村の行政区域]	15,666 ha [17,005]	11,741 ha	404 ha	3,192 ha	329 ha	589 戸	2,079 戸
周 辺 干 拓 地	西 部	181 ha	131 ha	—	50 ha	—	326 戸
	南 部	754 ha	530 ha	—	224 ha	—	1,078 戸
	東 部	387 ha	263 ha	—	124 ha	—	721 戸
	北 部	251 ha	127 ha	—	124 ha	—	248 戸
	小 計	1,573 ha	1,051 ha	—	522 ha	—	2,373 戸
計	17,239 ha	12,792 ha	404 ha	3,714 ha	329 ha	589 戸	4,452 戸

◆昔日の八郎潟の漁



◆うたせ舟



◆出身地別入植者数

出 身 地	入植者数	出 身 地	入植者数
秋 田 県	3 2 3 人	近畿地方	1 6 人
北 海 道	8 4 人	中国地方	1 9 人
東北地方	5 4 人	四国地方	9 人
関東地方	1 6 人	九州地方	2 2 人
中部地方	4 6 人	計	5 8 9 人

大潟土地改良区の概要

本土地改良区は、国営八郎潟干拓事業により造成された八郎潟中央干拓地の農用地保全並びに用排水の管理及び農業水利施設等維持管理を行うため設立された。

昭和48年8月に設立

設 立 当 初 [昭和52年4月第2工区編入時]

組 合 員 2,663名

1. 大 潟 村	584	(農業試験場・農業短大・管理公社・大潟村・畜連・農協含む)
2. 若 美 町	694	(農協2含む)
3. 八 郎 潟 町	456	(農協2含む)
4. 八 竜 町	582	(農協2含む)
5. 山 本 町	13	
6. 琴 丘 町	334	(農協1含む)

受益面積 11,765.1 ha

1. 大 潟 村	8,837.7 ha	(1戸平均 15 ha)
2. 周 辺 増 反 者	2,001.7 ha	(1戸平均 1.1 ha)
3. 普 通 田	85.6 ha	(大潟村農協 56.4 ha 菜園 29.2 ha)
4. 公共機関所有地	840.1 ha	(農地管理公社 531.0 ha) (農業試験場 138.2 ha) (農業短期大学 170.9 ha)

現 在 [令和6年4月1日現在]

組 合 員 1,282名

1. 大 潟 村	511	(秋田県・大潟村・農業試験場・県立大学・農業公社・農協含む)
2. 男 鹿 市	227	(農協1含む)
3. 八 郎 潟 町	163	
4. 三種町(八竜地区)	233	
5. 三種町(山本地区)	8	
6. 三種町(琴丘地区)	140	(農協1含む)

受益面積 11,764.8 ha

1. 大 潟 村	9,686.8 ha	
2. 周 辺 増 反 者	1,585.4 ha	
3. 大 潟 村 農 協	8.6 ha	
4. 公共機関所有地	484.0 ha	(農 業 公 社 206.5 ha) (農業試験場 33.9 ha) (県 立 大 学 170.9 ha) (大 潟 村 4.3 ha) (秋 田 県 68.4 ha)

事務所と役職員

〈所在地〉 秋田県南秋田郡大湊村字中央3番地の9

〈役員〉 理事 12名 (内 員外女性理事 1名)
監事 3名

(委員会構成)

○ 総務委員会 6名 (理事・員外女性理事)

○ 事業委員会 5名 (理事)

〈総代〉 大湊村選挙区 68名
男鹿市選挙区 11名
八郎潟町選挙区 8名
三種町(八竜地区)選挙区 9名
三種町(山本・琴丘地区)選挙区 7名
計 103名

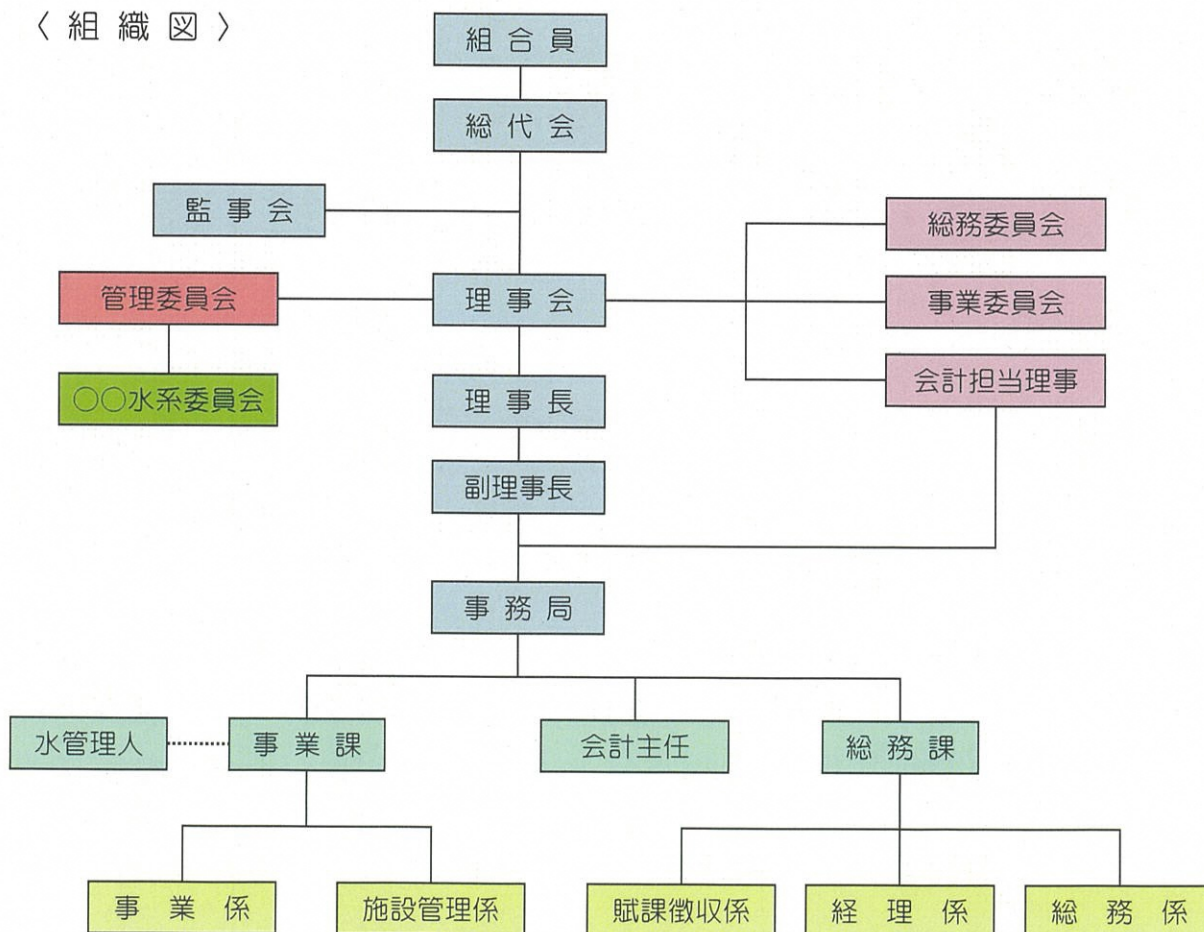


事務所全景

〈職員数〉 職員 9名 嘱託職員 1名 臨時職員 3名

〈季節雇用水管理人〉 8名 (4月～9月まで雇用)

〈組織図〉



予算規模（会計別）

令和6年度

① 一般会計 1,407,542,000 円

※ 平成26年度から特別会計廃止

一般会計のうち維持管理費に支出する予算の概要

① 用水取入口	18,521,000 円
② 幹線用水路	23,770,000 円
③ 小用水路	74,240,000 円
④ 支線排水路	11,391,000 円
⑤ 小排水路	23,394,000 円
⑥ 農道	1,107,000 円
⑦ 用水管理	30,123,000 円
⑧ 調査	3,054,000 円
計	185,600,000 円

経常賦課金等推移表

区分 年度	経常賦課金 (円/10a)	県営事業分担金 (円/10a)	国営事業負担金 (円/10a)	合計 (円/10a)
平成21年度	2,647	970		3,617
平成22年度	2,475	1,142		3,617
平成23年度	2,712	905		3,617
平成24年度	2,589	1,028		3,617
平成25年度	2,417	1,200		3,617
平成26年度	2,319	1,298		3,617
平成27年度	2,101	1,516		3,617
平成28年度	1,850	1,767		3,617
平成29年度	2,174	1,443		3,617
平成30年度	2,181	1,436		3,617
令和元年度	2,125	1,492		3,617
令和2年度	2,136	1,481		3,617
令和3年度	2,124	1,493		3,617
令和4年度	2,209	1,408	241	3,858
令和5年度	1,547	2,070	241	3,858
令和6年度	1,360	2,257	241	3,858

令和6年度 賦課金の平均（1戸あたり）

区 分 \ 金 額	周辺増反者（1.1 ha）	入植者（15 ha）
経 常 賦 課 金	14,960 円	204,000 円
県 営 事 業 分 担 金	24,827 円	338,550 円
国 営 事 業 負 担 金	2,651 円	36,150 円
計	42,438 円	578,700 円

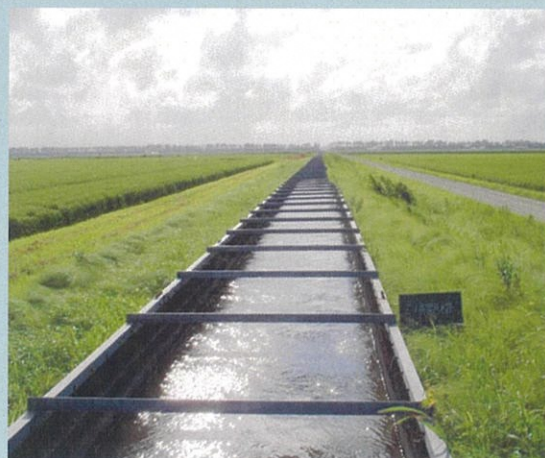
土地改良区の管理施設

施 設 名	延 長 距 離 等
① 用 水 取 入 口	19力所
② 幹 線 用 水 路	93.7 km
③ 小 用 水 路	450.3 km
④ 支 線 排 水 路	108.6 km
⑤ 小 排 水 路	520.7 km
⑥ 農 道	435.7 km

管理施設



D 1 用 水 取 入 口



E 1 幹 線 用 水 路

事業

1. 暗渠排水

八郎潟の土壌は、肥沃であるが反面極めて軟弱なため、干拓工事においても多くの努力が払われてきたが、干拓後における営農においても軟弱土壌の改善が大きな課題であって、排水の改良による乾田化を強力に進める必要があった。

① 団体営事業並びに非補助事業

地区名	区別	施工年度	事業量 (ha)	事業費 (円)	補助率 (%)
東野第1	周辺	S48～49	69.4	36,901,000	40
東野第2	周辺	S49～51	427.7	249,830,000	40
東野第3	周辺	S50～52	237.7	123,810,000	40
東野第4	周辺	S53	84.1	50,100,000	非
大潟第1	入植	S51～53	1,599.6	924,250,000	40
西野第1	入植	S50	182.3	106,943,000	非
西野第2	入植	S51	257.9	131,423,000	非
西野第3	入植	S52	342.0	192,813,000	非
西野第4	入植	S53	361.9	225,600,000	非
計			3,562.6	2,041,670,000	

② 県営土地改良総合整備事業

地区名	区別	施工年度	事業量 (ha)	事業費 (円)	補助率 (%)
大潟第2第3	入植	S54～61	3,114.1	2,541,761,000	75
大潟第2第3	周辺	S56～61	318.9	717,697,000	75
琴丘	周辺	H3～5	85.7	103,668,628	75 (湧水9.9ha含む)
八竜	周辺	H3～5	61.6	77,034,409	
八郎潟	周辺	H3～5	151.5	182,782,547	
若美	周辺	H3～5	95.2	114,806,871	
東野	周辺	H7～9	101.5	158,550,000	75
西野・方口	周辺	H7～9	95.9	147,889,500	75
計			4,024.4	4,044,189,955	

暗渠排水合計			7,587.0	6,085,859,955	
--------	--	--	---------	---------------	--



暗渠施工状況

2. 客 土

干拓地に砂質土の生産性の低いほ場が帯状に点在し、その改善のため粘質土を客土することにより土壌改良を進める必要があった。

① 団体営事業

地 区 名	区 別	施工年度	事業量 (ha)	事業費 (円)	補助率 (%)
方 口 第 1	周辺	S 48～50	51.0	49,080,000	40
方 口 第 2	周辺	S 49～51	54.9	50,345,000	40
方 口 第 3	周辺	S 50～52	67.4	58,767,000	40
方 口 第 4	周辺	S 51～52	66.3	61,194,000	40
計			239.6	219,386,000	

② 県営土地改良総合整備事業

地 区 名	区 別	施工年度	事業量 (ha)	事業費 (円)	補助率 (%)
大潟第2第3	入植	S 55～61	271.4	287,582,000	75
大潟第2第3	周辺	S 57～61	52.0	153,262,000	75
琴 丘	周辺	H 5	6.6	17,826,540	75
八 竜	周辺	H 5	8.7	25,296,280	75
若 美	周辺	H 5	7.2	23,679,890	75
東 野	周辺	H 8	2.5	6,533,000	75
西野・方口	周辺	H 8～9	21.0	63,198,500	75
計			369.4	577,378,210	

客土合計			609.0	796,764,210	
------	--	--	-------	-------------	--



客土施工状況

3. 用排水施設

水田農業確立対策に鑑み、用水施設の分水口は老朽化し転作や水管理に支障をきたしていたため、分水口を整備し水利用の合理化を進める必要があった。また、小排水路において一部すべりにより埋没し、暗渠効果が発揮できない路線があり軽量鋼矢板で護岸する必要があった。

県営土地改良総合整備事業

地区名	区別	施工年度	事業量	事業費(円)	補助率(%)	摘要
琴丘	周辺	H2～3	430力所	22,618,832	75	分水口
八竜	周辺	H2～3	644力所	38,669,311	75	分水口
八郎潟	周辺	H2～3	445力所	26,217,453	75	分水口
若美	周辺	H2～3	503力所	28,513,239	75	分水口
小計			2,022力所	116,018,835		
東野	周辺	H9	178m	22,417,000	75	護岸
小計			178m	22,417,000		
合計				138,435,835		

4. 排水対策特別事業

基幹排水施設が干拓地特有の土壌塑性による水路底浮き上がり・法面崩壊により所定の断面が保持されないことと、道路横断暗渠の沈下により当初の効用を発揮できず排水網のネックとなっていたため、能力不足をきたし地区内に湛水被害をおこしていた。これらを根本的かつ早急に改修し、排水効果をアップする必要があった。

排水機場の設置及び導水路、排水路の拡幅

排水機場

		排水機			原動機	
排水量	形式	口径	台数	形式	動力	台数
9.5 t	立軸斜流	1,500 mm	1台	電動	630 kw	1台
		1,000 mm	2台	電動	315 kw	2台

県営排水対策特別事業

地区名	区別	施工年度	面積(ha)	事業費(円)	補助率(%)
大潟地区	全域	S56～H元	11,764.1	2,400,872,000	80

5. その他（団体営）

土地改良施設修繕保全事業

①昭和43年度から昭和46年度に造成された干拓堤防に構築されている東部承水路取水口の導水管内に設置されている電動式蝶型弁が経年による老朽化と近年の水質悪化により密閉機能が低下し漏気、漏水を生じていることから、断水事故等の回避、安定的導取水の確保のために電動式蝶型弁の更新が必要であった。

地区名	区別	施工年度	事業量	事業費（円）	補助率（％）
大湊北部	取水口	H5	3 機場	30,300,000	50
大湊東部	取水口	H6	5 機場	47,066,000	50
大湊西部	取水口	H7	1 機場	17,609,000	50
計			9 機場	94,975,000	

②昭和40年度から昭和43年度に造成された干拓堤防に構築されている西部承水路取水口樋門の門扉等の腐食が著しく、塗装整備の出来ない状況となっていて、経年により操作機構が摩耗劣化し円滑な取水調整に支障をきたしていたことから、円滑な用水調整並びに用水溢水事故等の防止のために水門扉、操作機構、スクリーン等の更新が必要であった。

地区名	区別	施工年度	事業量	事業費（円）	補助率（％）
大湊西部	取水口	H7	1 取水口	18,751,000	50
大湊中野	取水口	H8	1 取水口	56,757,000	50
大湊方口	取水口	H10	2 取水口	89,082,000	50
大湊西	取水口	H11	3 取水口	82,416,000	50
計			7 取水口	247,006,000	

土地改良施設修繕保全事業

A 1 取水口



水門整備前



整備後

土地改良施設維持管理適正化事業

①昭和43年度から昭和46年度に造成された干拓堤防に構築されている東部承水路取水口の操作室内監視盤等電気設備が経年による老朽化に加え機材性能の絶縁抵抗劣化等が生じていたことから、断水事故等の誘引、絶縁不良等による感電事故を回避し、円滑な操作をするため操作監視盤、内部配電線を更新する必要があった。

地区名	区別	施工年度	事業量	事業費(円)	補助率(%)
大 湍	取水口	H 6	1 機場	10,000,000	60
大 湍	取水口	H 7	1 機場	10,000,000	60
大 湍	取水口	H 8	1 機場	10,000,000	60
大 湍	取水口	H 9	2 機場	20,000,000	60
大 湍	取水口	H10	1 機場	10,000,000	60
計			6 機場	60,000,000	

②昭和44年度に造成された幹線用水路のL型ブロック水路の目地が経年による老朽損傷により漏水事故が発生しており、円滑な灌漑用水の通水に支障をきたしていたことから、用水路の機能回復と安全性向上を図るため補修する必要があった。

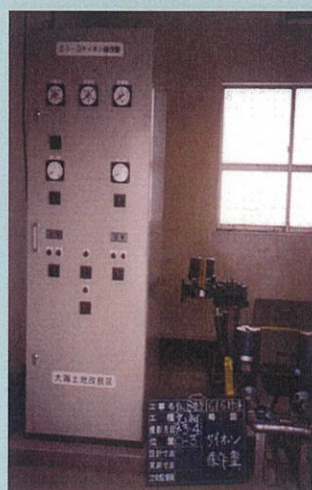
地区名	区別	施工年度	事業量	事業費(円)	補助率(%)
大湍・方口第1	幹線用水路	H10	524 m	3,800,000	60
大湍・方口第1	幹線用水路	H11	630 m	4,600,000	60
大湍・方口第3	幹線用水路	H12	714 m	4,200,000	60
大湍・方口第2	幹線用水路	H13	609 m	3,700,000	60
大湍・方口第2	幹線用水路	H14	845 m	6,000,000	60
大湍・方口第3	幹線用水路	H15	916 m	6,300,000	60
大湍・方口第4	幹線用水路	H16	2,067 m	12,884,000	60
計			6,305 m	41,484,000	

土地改良施設維持管理適正化事業

C1-3 取水口



呼水装置更新



監視盤更新

6. 幹線用水路等補修事業

基幹用水施設である幹線用水路のコルゲートU字フリューム及び用水取入口のサイフォン管やポンプ設備等が経年による劣化、老朽化により腐食が著しく、円滑な用水の通水と施設の維持管理に支障をきたしていることから漏水事故の防止と安定的用水の供給確保のために緊急的に補修する必要があった。

県営基幹水利施設補修事業（秋田北部3は基幹水利施設ストックマネジメント事業）

地 区 名	施工年度	事 業 量	事 業 費（円）	補助率（％）
秋 田 北 部	H 8～11	幹線用水路補修 13,199.2 m 分水口補修 7カ所	521,230,000	85
秋田北部2	H 12～17	幹線用水路補修 22,630.0 m	1,004,850,000	85
秋田北部3	H 17～24	幹線用水路補修 7,649.0 m 用水取入口補修 5カ所	1,379,700,000	85
計			2,905,780,000	

7. 排水機場等更新事業

基幹水利施設のうち防潮水門、南部排水機場及び北部排水機場は、経年の劣化と昭和58年の日本海中部地震の影響を契機として著しい機能低下が生じた。このため施設の機能回復を行い、農作物の被害、農地の災害等を未然に防止し、農業生産の維持と農業経営の安定及び国土保全を図る必要があった。

国営総合農地防災事業

地 区 名	施工年度	事 業 量	事業費（円）	補助率（％）	備 考
男鹿東部	H 8～14	南部排水機場 更新1カ所	10,500,000,000	100	第1期
	H 12～19	防 潮 水 門 更新1カ所 北部排水機場 更新1カ所	21,000,000,000	100	第2期

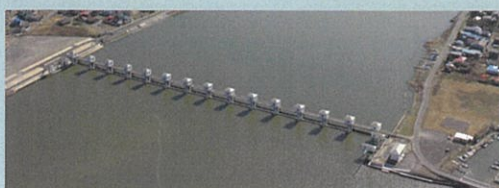
国営総合農地防災事業



南部排水機場



北部排水機場



防潮水門

8. 用水取入口等改修事業

築造後相当の年数が経過していることによる老朽化が著しいことから、施設の維持管理に多大な労力と経費を要した。このため、特に老朽化が著しい浜口機場及び用水取入口の改修を行うことにより施設の機能維持と安全性を確保し、維持管理の軽減と用水の安定供給を図る必要があった。

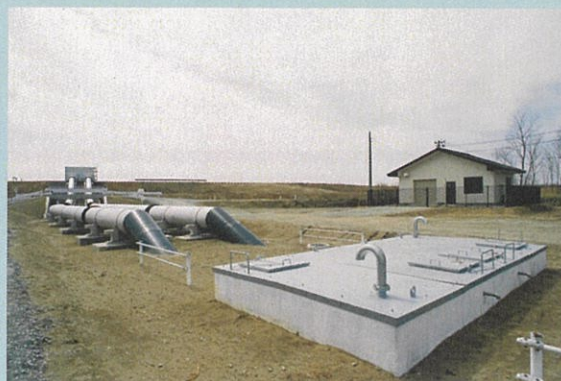
国営造成土地改良施設整備事業

地 区 名	施工年度	事 業 量	事業費（円）	補助率（％）
馬場目川下流	H14～18	浜口機場 改修1カ所 取 水 口 改修10カ所	3,180,000,000	96.33

国営造成土地改良施設整備事業



浜 口 機 場



F 2 用 水 取 入 口

9. 継続事業

水利施設管理強化事業（R4まで国営造成施設管理体制整備促進事業）

地区名：大湊、事業量：維持管理費の37.5%の支援事業、助成率：100%

年 度	事業費(円)	年 度	事業費(円)
H12	52,000,000	H25	43,100,000
H13	77,814,000	H26	50,000,000
H14	81,000,000	H27	50,000,000
H15	67,728,000	H28	50,000,000
H16	64,390,000	H29	30,000,000
H17	64,000,000	H30	30,000,000
H18	56,200,000	R1	30,000,000
H19	50,300,000	R2	30,000,000
H20	42,700,000	R3	30,000,000
H21	42,700,000	R4	30,000,000
H22	43,100,000	R5	26,198,000
H23	43,100,000	R6	30,000,000
H24	43,100,000		

農業基盤整備促進事業等

施工年度	事業量	事業費(円)
H29	区画拡大 暗渠排水 418ha 1,095ha	1,617,555,500
H30	区画拡大 暗渠排水 GNSS自動操舵システム GNSS基地局 農業水利施設整備 205ha 668ha 8台 1式 1式	1,061,625,000
R1	区画拡大 暗渠排水 農業水利施設整備 90ha 392ha 1式	556,126,000
R2	区画拡大 暗渠排水 農業水利施設整備 72ha 634ha 1式	889,385,000
R3	区画拡大 暗渠排水 農業水利施設整備 46ha 368ha 1式	553,264,000
R4	区画拡大 暗渠排水 GNSS自動操舵システム GNSS基地局 農業水利施設整備 18ha 542ha 35台 1式 1式	833,671,501
R5	区画拡大 暗渠排水 GNSS自動操舵システム 排水路更新 46ha 289ha 45台 1式	599,865,500



暗渠排水施工状況（農業者施工）



排水路更新（コンクリート水路）



GNSS自動操舵システムによる
田植え状況



GNSS自動操舵システム

■維持管理状況

幹線用水路アコシート上端部固定



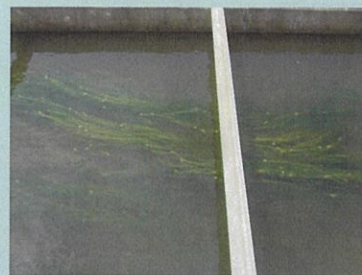
着工前



作業状況



完成



用水路内に繁茂した水草の状況



用水路内に繁茂した水草の状況



用水路内に繁茂した水草の除去

小用水路布設替



着工前



作業状況



完成



小用水路放水口補修状況

小用水路進入路補修



着工前



作業状況



完成

小用水路分水口補修



着工前



作業状況



完成



排水路のゴミの堆積状況



排水路内雑草繁茂による掘削

機械による用水路敷地の草刈



機械による排水路のゴミ上げ



排水路埋め戻りによる掘削



農道補修



碎石敷き均し

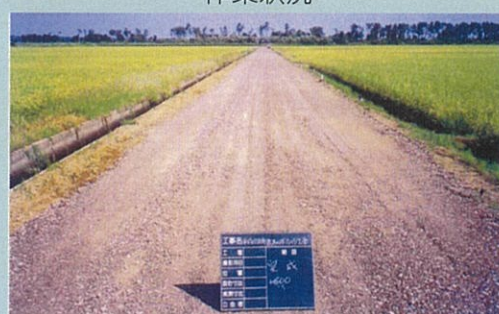


碎石補充

農道切り下げ



作業状況



完成



皆で守ろう 豊かな大地

大潟土地改良区

〒010-0443 秋田県南秋田郡大潟村字中央3番地9
 TEL (0185) 45 - 2118 (代) FAX (0185) 45 - 2412
<http://www.member.or.jp/~dokai/>